銀行勘定調整表

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　修正事項（不一致が生じる原因）を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

③　銀行勘定調整表を記入できるようになろう！

主な勘定科目

「当座預金」勘定（資産）

銀行勘定調整表とは、会社の「当座預金」勘定（資産）の残高と銀行の当座預金の残高が一致しない場合に、その原因を調査し、不一致金額を調整するために作成される表です。

（１）ひな形

銀行勘定調整表には両者区分調整法、企業残高基準法、銀行残高基準法の３つがありますが、ここでは、**両者区分調整法**を示し、企業残高基準法、銀行残高基準法は後で説明します。

両者区分調整法とは、**会社の帳簿残高と銀行残高を基準**として、これに不一致事項の修正を加えることで適正な当座預金残高を求める方法です。なお、調整後残高が当座預金勘定の決算整理後の残高を示します。加算項目と減算項目は、取引内容を簡潔に記載します。

銀 行 勘 定 調 整 表

当座預金勘定残高	×××	銀行の証明書残高	×××
加算：入金連絡未通知	×××	加算：時間外預入	×××
未渡小切手	×××	未取立小切手	×××
計	×××	計	×××
減算：誤記帳	×××	減算：未取付小切手	×××
引落連絡未通知	×××		
調整後残高	×××	調整後残高	×××

（２）調整方法

連絡の未通知や誤処理等を原因として、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。そこで、連絡を受けていない側又は誤処理を行った側の残高に対して、銀行勘定調整表において加算又は減算調整を行います。ただし、会社の修正についてのみ、仕訳を行う点に注意して下さい。

（3）修正事項

①　時間外預入（締切後入金）

時間外預入（じかんがいあずけいれ）とは、銀行の営業時間終了後に銀行の夜間金庫等に預け入れたことをいいます。この場合、会社では預入時に「当座預金」勘定（資産）の増加として処理していますが、銀行では預入日の翌日に入金処理されるため、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。

営業時間外ですが預入日にお金は銀行に保管されており、翌日には当座預金となりますので、**会社の修正は不要**であり、銀行の当座預金を増加させます。

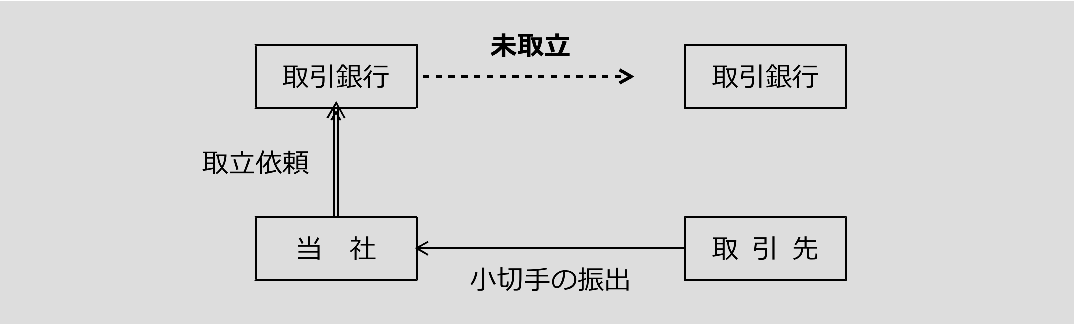
当　社	銀　行
処理済み	**未処理　→　銀行側の修正**

例題　**決算日に現金1,000円を銀行へ預け入れたが、銀行では翌日付の入金処理であった。**

仕訳なし

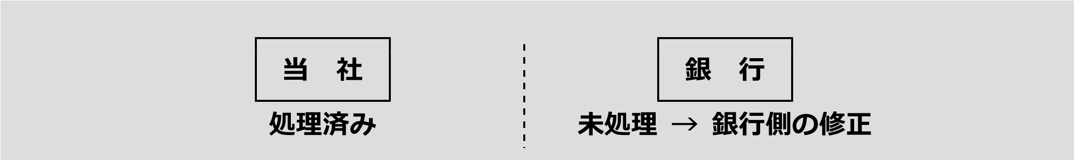
② 未取立小切手

未取立小切手（みとりたて）とは、他人振出小切手を銀行に取立依頼したが、未だ取り立てが完了していない小切手をいいます。



この場合、会社では小切手の預入（取立依頼）日に「当座預金」勘定（資産）の増加として処理していますが、銀行ではその小切手を決済を行った時（取立時）に入金処理を行いますので、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。

未取立であっても預入日に他人振出小切手は銀行に保管されており、後日、当座預金となりますので、**会社の修正は不要**であり、銀行の当座預金を増加させます。

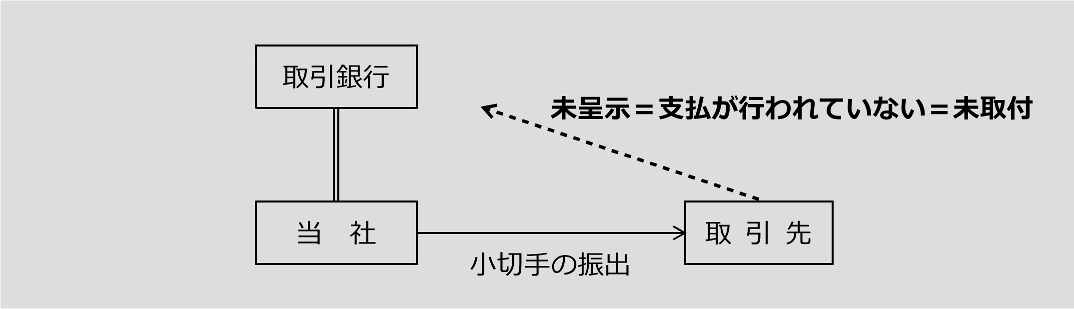


例題　**取引先から受け取った小切手3,000円を銀行へ持ち込み、取立依頼をしていたが、決算日現在、銀行が取立てを行っていなかった。**

仕訳なし

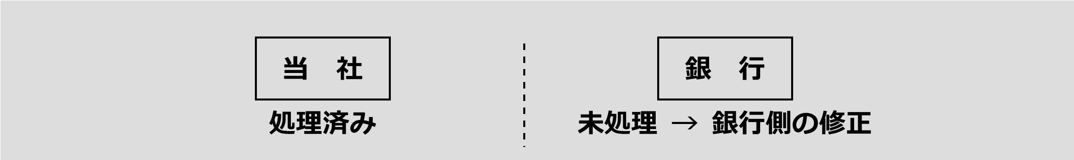
③　未取付小切手

　未取付（みとりつけ）**小切手**とは、取引先に渡したが、未だ銀行に呈示していない（取り付けていない）小切手をいいます。



　この場合、会社では小切手振出時に「当座預金」勘定（資産）の減少として処理していますが、銀行ではその小切手が呈示された時（取付時）に支払が行われますので、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。

　未取付であっても、後日、当座預金の減少となりますので、**会社の修正は不要**であり、銀行の当座預金を減少させます。



例題　**買掛金の支払いのために振り出した小切手2,000円が決算日現在銀行への呈示がなされていなかった。**

仕訳なし

④　未渡小切手

未渡小切手(みわたし)とは、小切手を作成したが、未だ取引先に渡しておらず、手許に残っている小切手をいいます。

会社では小切手作成時に「当座預金」勘定（資産）の減少として処理していますが、未だ取引先に未渡しのため、銀行では支払処理をしていませんので、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。

作成した小切手は未渡しですので、当座預金は減少しません。したがって、**会社の「当座預金」勘定（資産）を増加**させる仕訳を行います。

当　社	銀　行
小切手振出処理 → 修正仕訳	**ー**

修正仕訳は買掛金を支払うために作成した未渡小切手の場合は「**買掛金**」勘定（負債）の増加として、費用や固定資産の購入代金を支払うために作成した未渡小切手の場合は「**未払金**」勘定（負債）の増加として処理します。

例題　**買掛金1,100円の支払いのために作成した小切手が金庫に保管されていた。**

小切手作成時に以下の仕訳を行っています。

買　　掛　　金　　1,100 / 当　座　預　金　　1,100

小切手を渡していないので、買掛金の減少の取消（増加）として処理します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
当　座　預　金	**1,100**	**買　　掛　　金**	**1,100**

例題　**旅費1,500円の支払いのために作成した小切手が金庫に保管されていた。**

小切手作成時に以下の仕訳を行っています。

旅　　　　　費　　1,500 / 当　座　預　金　　1,500

小切手を渡していないので、旅費は未払であるため、未払金を計上します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
当　座　預　金	**1,500**	**未　　払　　金**	**1,500**

⑤　連絡未通知

連絡未通知（れんらくみつうち）とは、銀行で当座預金の入金や出金があったが、その通知が会社へ届いていないことをいいます。この場合、会社では未記帳ですが、銀行では処理済みですので、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。

実際に入金又は出金があったので、**会社の「当座預金」勘定（資産）を修正**する仕訳を行います。

当　社	銀　行
未処理 → 修正仕訳	**処理済み**

例題　**得意先から掛代金1,300円の当座振込があったが、当社に連絡が届いていなかった。**

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
当座預金	**1,300**	**売掛金**	**1,300**

⑥　誤記帳（誤処理）

誤記帳（ごきちょう）とは、実際の入金額や出金額と異なる金額で記帳してしまうことをいいます。この場合、会社では誤った金額で処理していますが、銀行では正しい金額で処理していますので、会社の帳簿残高と銀行残高は一致しません。

実際の入金額や出金額になるように、**会社の「当座預金」勘定（資産）を修正**する仕訳を行います。

当　社	銀　行
誤処理 → 修正仕訳	**適正に処理済み**

例題　**得意先から掛け代金1,200円の当座振込を、1,000円と誤記帳していた。**

実際に行った仕訳は以下です。

当　座　預　金　1,000 / 売　掛　金　1,000

本来あるべき仕訳は以下です。

当　座　預　金　1,200 / 売　掛　金　1,200

本来あるべき仕訳になるように、修正仕訳を行います。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当　座　預　金	**200**	**売　掛　金**	**200**

⑦　まとめ

修正仕訳が必要	修正仕訳が不要
④未渡小切手 ⑤連絡未通知 ⑥誤記帳（誤処理）	①時間外預入（締切後入金） ②未取立小切手 ③未取付小切手

例題　決算に際して当座預金の残高を確認したところ、当社の帳簿残高は68,900円であり、銀行側の残高証明の金額は96,400円であった。残高の不一致原因として、次の事実が判明したので、必要な修正仕訳を行うとともに、銀行勘定調整表（両者区分調整法）を作成しなさい。

① 受取手形の満期日到来に伴い、銀行で回収した13,500円が当社に未達であった。
② 買掛金の支払いのために振り出した小切手9,400円が決算日現在銀行への呈示がなされていなかった。
③ 備品購入にかかわる未払金の支払いのために振り出した小切手6,800円が未渡しのまま金庫に保管されていた。
④ 決算日に現金2,000円を銀行へ預け入れたが、銀行では翌日付の入金処理であった。
⑤ 小切手を振り出して、買掛金1,000円を支払ったが、800円と記帳していた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	**当座預金**	**13,500**	**受取手形**	**13,500**
②	**仕訳なし**			
③	**当座預金**	**6,800**	**未払金**	**6,800**
④	**仕訳なし**			
⑤	**買掛金**	**200**	**当座預金**	**200**

銀行勘定調整表

当座預金勘定残高	68,900	銀行の証明書残高	96,400
加算：入金連絡未通知	13,500	加算：時間外預入	2,000
未渡小切手	6,800		
計	89,200	計	98,400
減算：誤記帳	200	減算：未取付小切手	9,400
調整後残高	89,000	調整後残高	89,000

（４）企業残高基準法と銀行残高基準法

① 企業残高基準法

企業残高基準法とは、**会社の当座預金残高**に対して不一致事項を加減算して、銀行の証明書残高に一致させる方法です。企業残高基準法によると、両者区分調整法における銀行側の修正が「加算が減算」、「減算が加算」として調整されます。

・両者区分調整法

銀 行 勘 定 調 整 表（両者区分調整法）

当座預金勘定残高	68,900	銀行の証明書残高	96,400
加算：入金連絡未通知	13,500	**加算：時間外預入**	**2,000**
未渡小切手	6,800		
計	89,200	計	98,400
減算：誤記帳	200	**減算：未取付小切手**	**9,400**
調整後残高	89,000	調整後残高	89,000

・企業残高基準法

銀 行 勘 定 調 整 表（企業残高基準法）

当座預金勘定残高		68,900
加算：入金連絡未通知	13,500	
未渡小切手	6,800	
未取付小切手	**9,400**	29,700
減算：誤記帳	200	
時間外預入	**2,000**	2,200
銀行の証明書残高		96,400

② 銀行残高基準法

銀行残高基準法とは、**銀行の証明書残高**に対して不一致事項を加減算して、会社の当座預金残高に一致させる方法です。銀行残高基準法によると、両者区分調整法における会社の修正が「加算が減算」、「減算が加算」として調整されます。

・両者区分調整法

銀 行 勘 定 調 整 表（両者区分調整法）

当座預金勘定残高	68,900	銀行の証明書残高	96,400
加算：入金連絡未通知	**13,500**	加算：時間外預入	2,000
未渡小切手	**6,800**		
計	89,200	計	98,400
減算：誤記帳	**200**	減算：未取付小切手	9,400
調整後残高	89,000	調整後残高	89,000

・銀行残高基準法

銀 行 勘 定 調 整 表（銀行残高基準法）

銀行の証明書残高		96,400
加算：時間外預入	2,000	
誤記帳	**200**	2,200
減算：未取付小切手	9,400	
入金連絡未通知	**13,500**	
未渡小切手	**6,800**	29,700
当座預金勘定残高		68,900

現金預金　問題

問題1　決算に際して当座預金の残高を確認したところ、当社の帳簿残高は ？ 円であり、銀行側の残高証明の金額は50,000円であった。残高の不一致原因として、次の事実が判明したので、必要な修正仕訳を行いなさい。必要な仕訳がない場合には「仕訳なし」と記入すること。また、答案用紙に示した銀行勘定調整表を完成させなさい。

①　決算日に現金1,000円を銀行へ預け入れたが、銀行では翌日付の入金処理であった。
②　買掛金の支払いのために振り出した小切手7,000円が決算日現在、銀行への呈示がなされていなかった。
③　買掛金支払いのために振り出した小切手8,000円が未渡しのまま金庫に保管されていた。
④　広告宣伝費の支払いのために振り出した小切手4,000円が未渡しのまま金庫に保管されていた。
⑤　受取手形の満期日到来に伴い、銀行で回収した20,000円が当社に未達であった。
⑥　売掛金2,000円の回収時に、誤って2,300円の回収と処理していた。

現金預金　答案用紙

問題1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

銀行勘定調整表

当座預金勘定残高	(　　)	銀行の証明書残高		50,000
加算：(	)(　　)	加算：(	)	(　　)
(	)(　　)			
減算：(	)(　　)	減算：(	)	(　　)
調整後残高	(　　)	調整後残高		(　　)

現金預金　解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	**仕訳なし**			
②	**仕訳なし**			
③	**当座預金**	**8,000**	**買掛金**	**8,000**
④	**当座預金**	**4,000**	**未払金**	**4,000**
⑤	**当座預金**	**20,000**	**受取手形**	**20,000**
⑥	**売掛金**	**300**	**当座預金**	**300**

銀行勘定調整表

当座預金勘定残高	12,300	銀行の証明書残高	50,000
加算：未渡小切手	12,000	加算：時間外預入	1,000
入金連絡未通知	20,000		
減算：誤記帳	300	減算：未取付小切手	7,000
調整後残高	44,000	調整後残高	44,000

問題1　**解説**

①　時間外預入（締切後入金）

時間外預入は、企業の修正は不要であり、銀行の当座預金を増加させます。

②　未取付小切手

未取付小切手は、企業の修正は不要であり、銀行の当座預金を減少させます。

③　未渡小切手

未渡小切手は、企業の当座預金を増加させる仕訳を行います。買掛金を支払うために作成した未渡小切手の場合は「買掛金」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**8,000**	**買掛金**	**8,000**

④　未渡小切手

未渡小切手は企業の当座預金を増加させる仕訳を行います。費用や固定資産の購入代金を支払うために作成した未渡小切手の場合は「未払金」勘定（負債）の増加として処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**4,000**	**未払金**	**4,000**

⑤　連絡未通知

実際に入金があったので、企業の当座預金を増加する仕訳を行います。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**20,000**	**受取手形**	**20,000**

⑥　誤記帳

実際の入金額になるように、企業の当座預金を減額する仕訳を行います。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	**300**	**当座預金**	**300**